

令和7年度 学校だより



りんごの里から

12月号

青森県立弘前第一養護学校 令和7年12月16日発行

小学部主任 葛西 真弥子
中学部主任 白藤 剛

【小学部】

本校では、3年前からSDGsの視点を取り入れた授業づくりに取り組んできました。小学部では、「身近な資源を大切にしよう」ということを目指し、低学年では畑作業や収穫物の調理、花を育てプレゼントする活動、給食に関わる人へのインタビュー等、体験を通して感性を育み、高学年では紙の再利用、リサイクルについての学習、捨てられる摘果したりんごの活用を通じ、社会的な視点で行動へつなげてきました。

小学部高学年Bグループでは、育てているりんごの摘果作業で出た小さなりんごを3年前から炭にして飾れるようにしていました。しかし、その中に形が崩れている炭のりんごがどうしてもできてしまうことから、「もったいない」を減らすために、今年度は崩れた炭のりんごをたたいて砕き、コーヒーフィルターに入れ、生活に生かせるように「においすっきりりんご」という名前の消臭剤にしました。その活動を、「第5回ごみゼロ・カーボンゼロ研究コンクール」に応募したところ、審査員の方々から「とても優れた作品」として高く評価され、佳作に選ばれました。12月1日の学部集会では、その表彰が行われ、賞状をはじめたくさんの副賞をいただきました。

これからも、体験的な活動を通して物や人と関わり、社会参加、社会貢献へつなげていきたいと考えています。



【中学部】

中学部の教育目標の1つに「働くことに意欲をもち、よりよい社会生活ができる生徒」とあります。生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習し、生徒一人一人が目標達成できるように、年間を通じてリサイクル班、紙すき班、エコクラフト班、畑・木工班に分かれて作業学習を行っています。授業では、活動に見通しをもつことで、手順や作業のやり方を覚える、一人で準備や片付けをして、自分の役割を進んで行う生徒が多く、その姿にいつも感心しております。

10月から11月にかけては、「働く」をテーマに校内、校外のいろいろな学習内容を関連付けて、生徒が分かりやすいように学ぶ機会を設けています。まず、施設・職場見学では就労している先輩方、また、高等部現場実習報告会リモート視聴では高等部の先輩方から、働く現場や様子を見たり聞いたりして自分たちが将来目指す姿を考えます。次に、働くための態度や心構えを育成することを目的に、一週間1校時目から5校時目まで作業学習に取り組む働く週間を設定しています。実施後、活動の振り返りをして報告会をします。さらに、販売学習を通して、自分達で作った製品を販売し、お客様や保護者とやりとりすることで、働く喜びや完成の成就感を味わい、成果として報酬を得られることを知ってほしいと考えております。

今後も、生徒自身の目標を共有しながら、目標達成に向けた取り組みを継続していきます。

